

## 「アートマイル壁画展 at ネカ美術館」(2008.2.29-3.3)

～インドネシア日本50周年記念事業壁画展～ バリ島ウブド最大の美術館で開催

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

日本の小学生とウブドの小学生が共同制作した壁画を展示する「アートマイル壁画展」を、芸術の村と呼ばれているバリ島のウブドで開催した。展示会場は、ウブド最大のネカ美術館。この展示会は、バリ日本総領事館の支援により「インドネシア日本50周年記念事業」として認定され、主席領事がオープンセレモニーに駆けつけて会場にいるウブドの子どもたちに祝福のメッセージを贈った。両国の子どもたちは展示会後も交流を続け、TV会議で友好の絆を深めた。

### 1 日程について

[日時] 2008年2月29日～3月3日

[場所] ネカ美術館

(インドネシアバリ島ウブド)

### 2 ねらい

同じアジアに住む日本の子どもたちとインドネシアの子どもたちが、共同制作した壁画を展示して多くの人に見てもらうことで、完成させた達成感を味わうと共に、お互いをより身近に感じてさらに交流の絆を深める。

このきずなを一過性のものにするのではなく、2008年度の活動につなげる。

### 3 内容

熊本県の春日小学校と佐賀県の芙蓉小学校は2007年度のアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトに参加し、ウブドの子どもたちと交流して壁画を半分ずつ描いた。その作品をウブドの美術館で展示した。

[展示内容]

- ・熊本県熊本市立春日小学校とウブド第1小学校の壁画作品
- ・佐賀県佐賀市立芙蓉小学校とスタ・ダルマ小学校の壁画作品
- ・制作場面の写真
- ・ウブド群小学生の絵コンクール入賞作品



(日本総領事館、群教育委員会、日本人会の人たち)

＜ウブド第1小学校の子どもたちと作品＞



＜スタ・ダルマ小学校の子どもたちと作品＞



### 4 成果及び課題

アートマイルプロジェクトに取り組んだ子どもたちは、共同制作を通して異文化に触れるだけでなく、自国の文化を深く理解するようになった。ネカ美術館で自分達の作品を見たウブドの子どもたちは、活動に誇りを感じた。展示後、手元に戻ってきた作品を見た日本の子どもたちは、大きな満足感を感じた。最後の交流となったTV会議では、互いを身近に感じた。

同じアジアの国の子どもたちがお互いを知り、理解を深めていくことは重要であり、2008年度は交流を発展させて、日本の子どもたちがウブドを訪問して一緒に壁画を制作するイベントを計画している。